



支援総額
1億2,095万6,155円

2017年 ラオス人民民主共和国視察

★ ミャンマー連邦共和国



ミャンマー政府の強いリーダーシップの下、同国のワクチン接種環境は徐々に改善しています。しかし、ワクチンが届きにくい遠隔地や紛争地の子どもたちの接種率は十分ではなく、感染症が流行する危険性を常にはらんでいます。これを受けて、政府は今年、日本脳炎、ポリオ、はしか、風疹といった病気を予防するためのワクチン接種と啓発を強化します。JCVは、コールドチェーンと注射器を贈り、そして、親向けの啓発カード制作費用(150万部)を支援します。

【支援内容(2018年向け)】56,847,347円

- コールドチェーンなど：ソーラー保冷庫35台、アイスライン保冷庫60台、注射器
- ワクチン接種支援ツール：ワクチン接種カード制作費用

ラオス人民民主共和国



経済成長に加え、貧困削減や母子保健の改善などが見られるラオス。子どもの死亡率にも減少が見られますが、同国の1歳児のうち、すべての推奨ワクチンを接種しているのは全体のわずか1/3です。特に、道路がないような遠隔地の子どもの接種率は低く、前進のスピードに停滞が見られます。政府は、ワクチン接種費用の予算を約3倍に増やすなど対応をしていますが、十分ではありません。資金ギャップを補うために、JCVは、ワクチンと接種機器を贈り、引き続き同国のワクチン接種を支援します。

【支援内容（2018年向け）】 21,540,481 円

- ワクチン：BCG 757,335 人分、JE（日本脳炎）64,858 人分
- コールドチェーンなど：注射器、セーフティボックス（使用済み注射器回収箱）

ブータン王国



1991年に国内の子どもワクチン接種が確立して以来、高い接種率を保っているブータン。しかし、遠隔地の住人や遊牧民へいかにワクチンを届けるか、また、標高が高い中でいかにワクチンの適正管理温度(2℃～8℃)を保つか、という課題があります。加えて、国の所得が上がったことで国際支援の一部が終了し、ワクチンのための資金が不足しています。JCVは、自国ですべてのワクチンをまかなえるまで、2017年度も伝統的なワクチン(BCG、経口ポリオ、はしか等)とコールドチェーンを支援します。

【支援内容（2018年向け）】 21,760,325 円

- ワクチン：経口ポリオ 83,000 人分、MMR（おたふく風邪／はしか／風疹）33,500 人分、BCG 100,000 人分、DPT（ジフテリア／百日咳／破傷風）31,000 人分、TD（破傷風／ジフテリア）62,000 人分、Hep.B（B型肝炎）27,000 人分
- コールドチェーンなど：アイスライン保冷库 5 台、保冷库 15 台、コールドボックス 30 個、定電圧装置 25 台、温度計（30日間記録）200 個、注射器

バヌアツ共和国



2016年のバヌアツのワクチン接種率は、2013年より30%向上し、81.1%になりました。しかし、国際目標の90%にはまだ及びません。ワクチン接種回数を終了しない「ドロップアウト」が多いこと、親の理解が足りていないことが、前進を阻んでいます。さらに、自国でワクチンを供給するための資金と人手が不十分であり、国際機関の支援を必要としています。JCVは、引き続き五価ワクチン、接種機器、コールドチェーン機器を贈るとともに、親やヘルスワーカーへの啓発活動を支援します。

【支援内容（2018年向け）】 20,808,002 円

- ワクチン：五価（ジフテリア／百日咳／破傷風／B型肝炎／髄膜炎桿菌b型（Hib）による細菌性髄膜炎）33,000 人分
- コールドチェーンなど：ソーラー保冷库 3 台、セーフティボックス、注射器、保護者への啓発活動費用、ヘルスワーカー研修費用